

平成27年度事業報告 公益財団法人群馬健康医学振興会

1. 社会医療福祉活動および健康医学教育の振興、地域住民の医療啓蒙を目的とした書籍の出版事業

最新の医学の進歩と、法人活動の成果を地域住民に知らしめるための書籍を発刊する。おおむね5年ごとの研究助成、講師派遣の成果、及びその間に法人が収集した最新の医学の進歩について広く県民、地域住民に知らしめるために法人が書籍を発刊し、地域の医師会、病院、学校施設、行政機関などに寄贈するとともに一般の書店、病院内で販売する。

(発刊手続き)

平成28年度の出版を予定している。

平成26年2月26日に、理事の事務分担・機能別における医師シリーズ発刊担当理事による打合せを実施。次刊(第6刊)の発行について検討が行われ、平成28年度の発刊が確認された。

このため平成27年度においては、各担当理事が医師シリーズの内容の詳細について次のとおり検討、打合せと情報収集を行っており、平成27年度中に出版要旨をまとめ、平成28年度に出版する。

平成27年8月18日 「医師シリーズ発刊」(企画・立案)担当理事による内容について検討が行われた。

平成27年9月15日 同担当理事による具体的な内容の案の作成を検討した。

平成27年10月31日 第5刊発刊の編集責任者の中島先生との打合せを行った。

平成28年1月13日 第6刊の内容は「肥満」を主題に発刊することとした。

(検討された次刊の内容)

- ①スーパー図解 家庭の医学ニーズと絵でみる病気とその対応
- ②ありふれた心の不調—不眠、疲れ、意欲減退など—
- ③発達障害 おとなと子ども
- ④家庭でここまでできる応急手当
- ⑤症状でひく病気早わかり
- ⑥肥満症(一般成人向け) 肥満症と関連した病気との関連
- ⑦糖尿病、高脂血症、高血圧等・・・成人病シリーズ、高齢者向けシリーズ

2. 地域医療の向上を目的とした医療関係職等が中心になって行う研究、事業に対する研究助成金の交付

群馬県内または近郊、その他の地域に勤務する医師、薬剤師、看護師、臨床検査技師、療法士、保健師、社会福祉士、その他の保健、医療及び福祉関連職、教員、団体等が年度内に行う研究または事業であって、平成27年度においては、以下の群馬健康医学振興会の事業に則った次の活動に研究助成金を交付した。

平成27年度 公益財団法人群馬健康医学振興会 助成金採択者（五十音順）

- (1) NPO群大クラブ マネージャー 阿部尚子
高齢者交通安全向上プロジェクト事業
- (2) 群馬大学大学院医学系研究科 重粒子線医学研究センター 助教 酒井真理
細胞の放射線耐性と一時的な突然変異機能の上昇機構の解明
- (3) 群馬大学医学附属病院 リハビリテーション部 理学療法士 菅谷知明
「METs」と身体・運動特性との関連性～トレッドミル走行を用いた検討～
- (4) 桐生大学 医療保健学部 看護学科 教員 高橋美砂子
ポピュレーションアプローチとしての口腔機能低下予防体操(みんなのお口の体操)の啓蒙・普及活動
- (5) 高崎健康福祉大学 理学療法学科 助手 千木良佑介
地域の通所リハビリテーション(デイケア)における内部障害患者の割合とリスク管理について
- (6) 群馬大学医学部附属病院 消化器外科 助教 豊増嘉高
胃癌術後患者における栄養状態の評価
—術式間での脂溶性ビタミンの血中濃度に着目して—
- (7) 前橋赤十字病院 放射線科 放射線技師 星野洋満
脳脊髄液漏出症における脳槽シンチ検査による患者負担が低く精度の高い診断法の確立
- (8) 群馬大学大学院医学系研究科 大学院生 細貝真弓
サイトメガロウイルス眼感染症におけるウイルス遺伝子型の解析

3. 群馬県で行われる市町村、社会福祉、民間団体等、県民および近隣の住民が主体となつて行う健康づくりを目的とした医学、医療福祉に関する公開講座、セミナー、研究会、学術集会、学会、ワークショップ、その他の地域保健活動に対する指導、講師派遣、コンサルティング等の支援および本財団法人との共催事業の開催

関東地方、県レベルで行われる教育機関、スポーツ競技団体等が主催するスポーツ競技会、地域住民が参加する交流会、健康増進を目的とした事業への協力、帯同ドクター、トレーナー、看護師、薬剤師、栄養士等の支援医療スタッフの派遣

地域で行われる健康診断、メディカルチェック事業等に対する医療専門職の派遣、コンサルティング活動の実施

平成27年度においては、次のとおり講師派遣の事業を実施した。

(実施事業)

講師派遣

- (1) 平成27年12月15日 明寿大学 同窓会 前橋市
「運動療法 筋力を鍛えるには」
- (2) 平成28年1月22日 群馬マスターズクラブ 前橋市
「ストレスチェック義務化法に対する対策」
また、自分自身のストレスについて
- (3) 平成28年2月21日 前橋市昭和町二丁目自治会「生涯学習教室」
高齢者の健康維持のため
- (4) 平成28年3月3日 邑楽町保健センター
「自殺予防講演会」
思春期(若年者)のいのちを地域でどう支えるか

4. 第117回日本外科学会定期学術集会に対する助成

県民の健康増進、地域医療の充実、先進医療の振興を図るとともに医学に関する情報を広く県民に発信するため、平成29年に開催される第117回日本外科学会定期学術集会に対する助成事業を実施する。

日本外科学会は、日本内科学会とともに国民の健康増進確立と疾病治療のために活動する学術団体である。本学会の目的と活動は、外科学を通じて本邦のみならず世界のあらゆる分野の医学の研究活動、医療の進歩に貢献するものである。

このたび、国立大学法人群馬大学医学系研究科病態総合外科学分野が、日本外科学会定時学術集会を主管することとなり、県内においても市民公開講座が開催されることとなったため、本学術集会に支援することによって、地域住民の健康増進、地域医療の振興に貢献する。

(1) 事業内容

日本外科学会定期学術集会は全国の外科が集まり世界各国からも著名な外科医師、研究者が招かれて討論するものである。この活動は国内外のあらゆる分野の医学、進歩に大きく貢献するものである。

(2) 財源

寄附金収入

(3) 実施期間

平成28年3月から平成29年まで